

抜け感のプロムナード

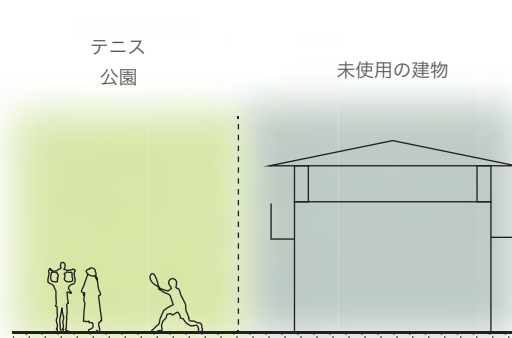


奥武山公園の現状



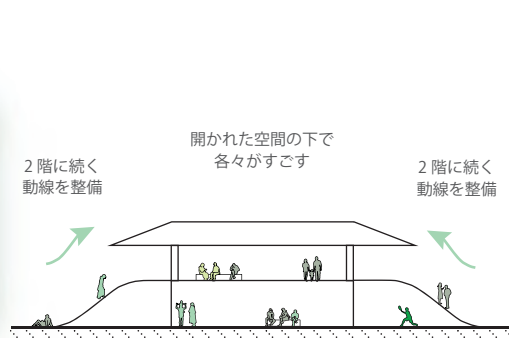
奥武山公園はスポーツ施設が数多く計画された都市公園である。いつも様々なスポーツでにぎわっているが、各々の施設は、その競技をするための施設となっており、広く開放されている場所は歩道や緑地等、意外と少ない。

活気ある場と使われていない場



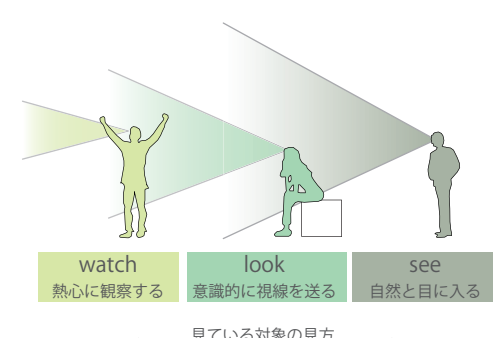
テニスコートのクラブハウスも他の施設と同様に、周囲がにぎわう中、誰にも使われていない空間が広がっていた。
全てのテニスコートを見渡せる気持ちの良い空間が、誰にも使われずただそこにあるだけだった。

2階空間の開放



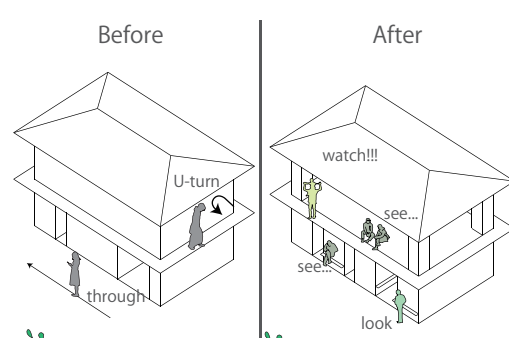
使われていない2階空間を、普段は開放することができないだろうか。
小高い丘でのんびりとするようにただ何となくこの場所を使ってみる。市民全体に開かれた新しいクラブハウスを提案する。

みる - watch, look, see -



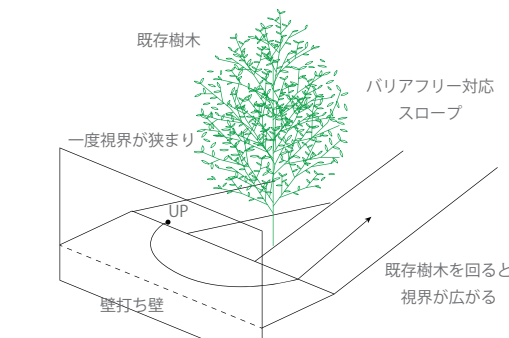
本計画では、幅広い「みる」を寛容する施設とすることで、周辺の公園も含めた活気のある空間となることを目的とする。同じ場所でも人によって異なる「みる」。または、場所や時間によって異なる「みる」を体験できる空間を提供する。

改修方針

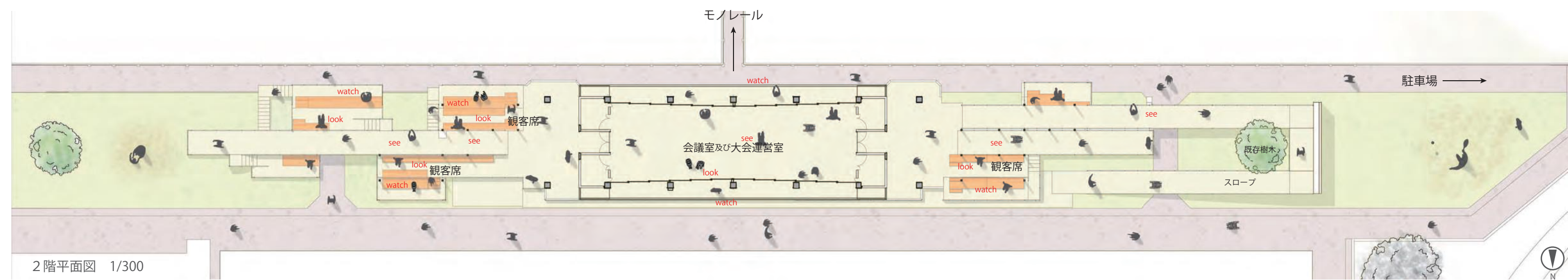


現在のクラブハウスは、テニスをする人のための施設となっている。そのクラブハウスに平面のずれや開口部、ベンチや東屋空間を与えることで、普段時にはテニスをしていない人も使える建物となる計画をする。

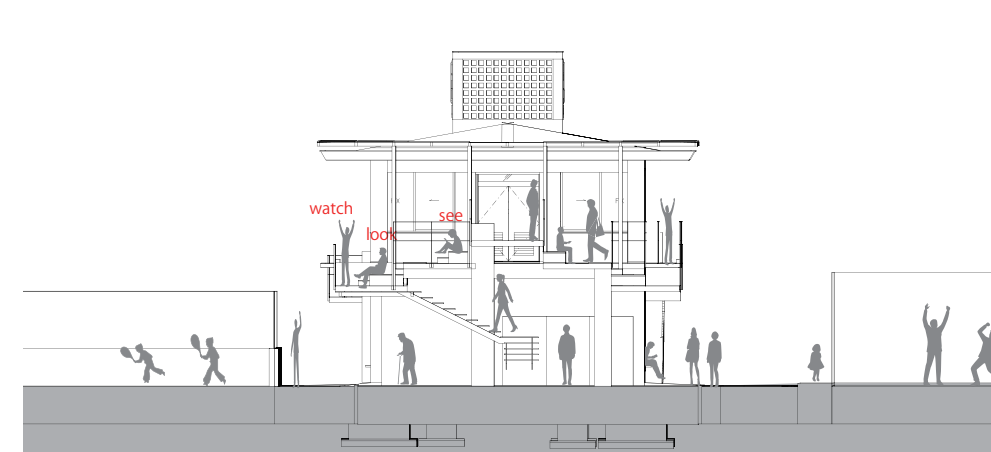
動線を演出するスロープ



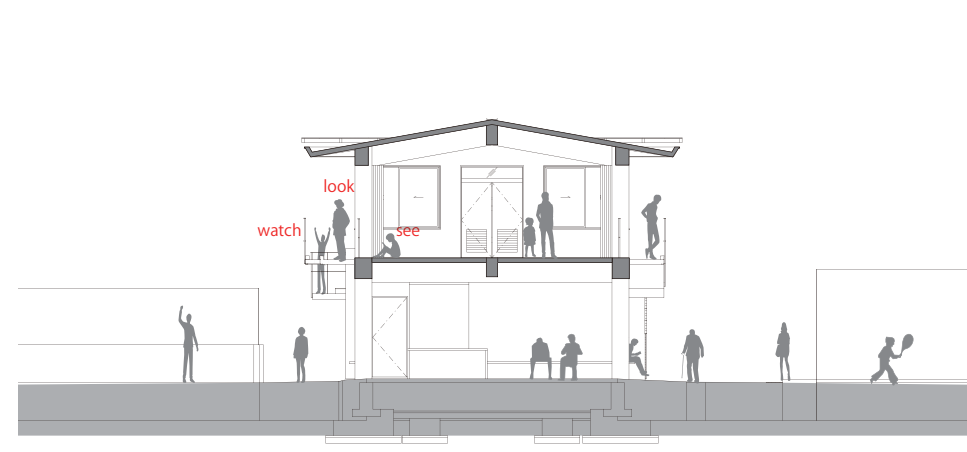
より多くの人が2階に訪れるよう、バリアフリー対応のスロープを計画した。
既存樹木の周囲をまわるように計画されており、そこを抜けると視界が開け、左右に広がるテニスコートをみながら2階につながる道を進む。



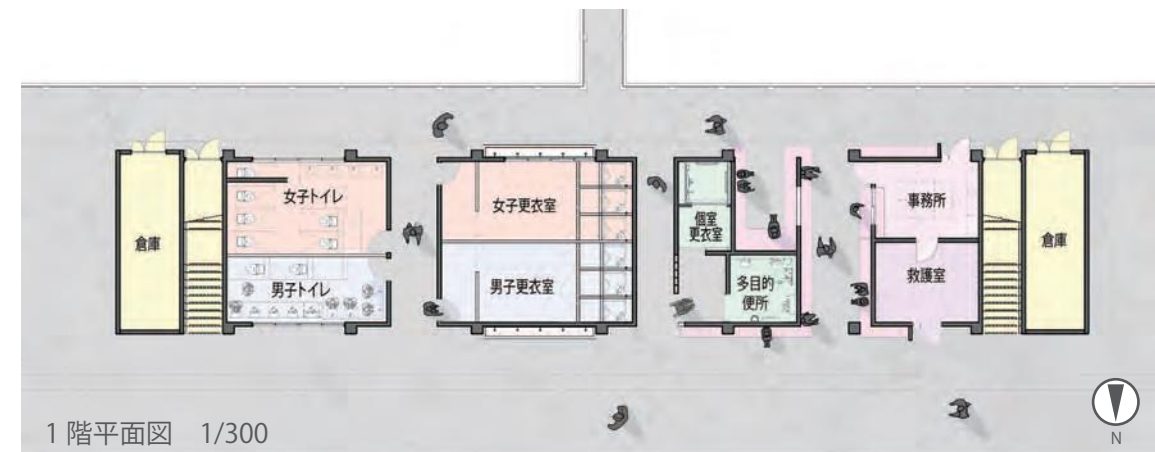
2階平面図 1/300



増築部断面図 1/200



改修部断面図 1/200



1階平面図 1/300



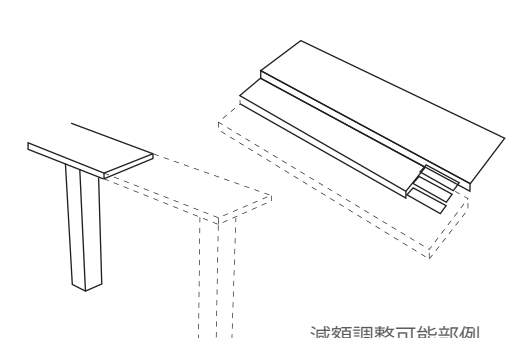
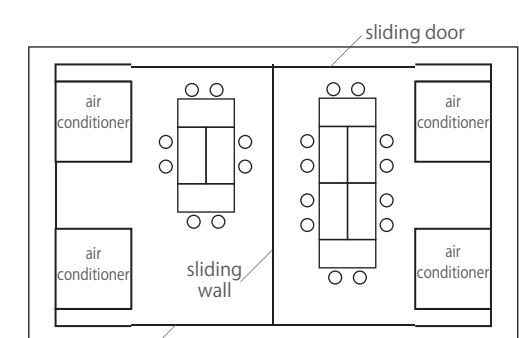
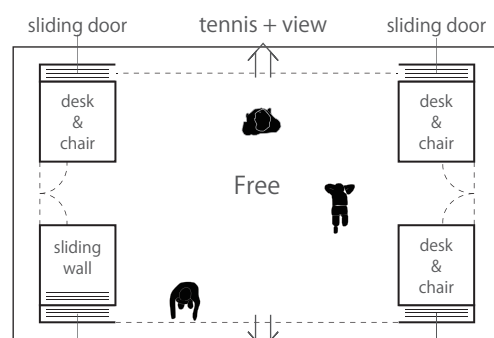
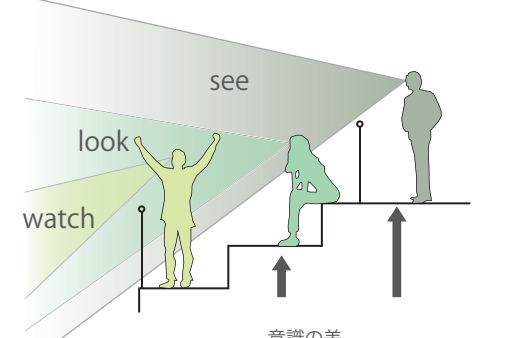
沖縄らしい空間「抜けきらない抜け感」

観戦席の watch,look,see

開放されている時の使われ方(2階)

大会運営室としての使われ方(2階)

減額調整



私たちは沖縄らしい空間の1つに、「抜けきらない抜け感」があると考えている。例えば海の側にある並木道、木々の間を進んで行くと奥に見えてくる海の景色や、目線は遮られているのに、その奥には空間を感じることができる住宅のヒンブンなどもあげられると考えている。この感覚は沖縄においてよく感じることのできる空間体験である。本計画では、中央の管理棟が大きな壁となっているため、既存2階部分や増築部分のデザインは「抜けきらない抜け感」を意識して計画されている。

観客席はそれぞれの「みる」に対応した計画になっている。観客席は奥に行くほど高くなっており、テニスコートにより近い側から watch→look→see の見方に合わせた計画がされている。

必要な物品や建具等は四隅の倉庫に収納されることで、普段時に、この部屋を誰もが使用することができる。一面に広がるテニスコートをみながら、各々が好きなようにすです。

大会運営室等として利用する場合は、4隅の倉庫から引戸を閉めることで、内部化して利用することができる。エアコンも倉庫の上部に格納されており、可動間仕切りで室を区切っても問題なく使用できる。

万が一工事金額が超過する場合は、増築部の柱を減らすことで施工面積を抑えたり、要求席数を下回らない範囲で観客席の数を減らすことで、コンクリートの打設量を減らす等、の対応を行う。